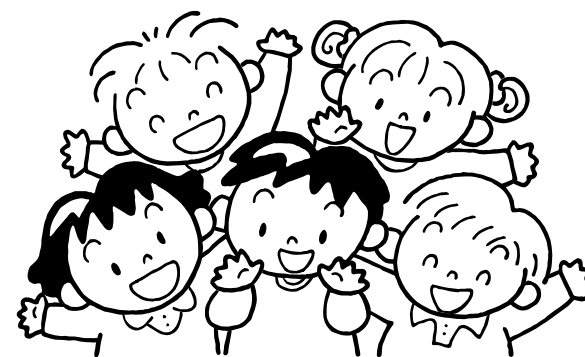


箱根町次世代育成支援行動計画

平成 23 年度事業実績及び 24 年度実施状況

箱 根 町



<参考：箱根町次世代育成支援行動計画（後期計画）基本目標>



基本目標1 地域における子育ての支援

すべての家庭における子育てを支援するため、関係機関・団体等が連携し、子育て家庭のさまざまな状況に応じて柔軟に利用できる支援サービスの提供を図ります。

子どもの出産や育児にかかわるさまざまな悩みを解消できるよう、情報提供や学習機会の充実、相談体制の強化を図るとともに、子育てをしている家庭同士や、子育てを卒業した人たちなどとの交流を通じ、情報交換したり悩みを話したり打ち明けあったりできる機会づくりを図ります。

子どもたちの安全と自主性を尊重しながら、子どもたちの居場所づくりや活動の促進を図ります。

基本目標2 母性並びに乳児及び乳幼児等の健康の確保及び増進

母親の出産前後の心身両面のケアを厚くするなど、母親が安全に安心して子どもを生み育てることができるように支援するとともに、子どもの発育や成長段階に応じて一貫した健康の維持・増進、望ましい食生活を促進し、生涯にわたる健康な生活の基礎を築きます。

基本目標3 子どもの健やかな成長に資する教育環境の整備

子どもたち一人ひとりの個性と可能性を伸ばし、豊かな人間性とたくましく生きる力を培うことができるよう、保育園、幼稚園、学校等が連携し、子どもの成長段階に応じた教育内容の充実と学習環境の向上を図ります。

次代の親づくりも視野に置きながら、子どもたちの男女共同参画意識の醸成や乳幼児との交流などを推進します。

子どもの父母などの子育てに対する意識を向上し、家庭の子育て力の向上を図るとともに、地域のさまざまな資源を活用し、地域の子どもたちを地域の人たちで育てていける環境をつくります。

基本目標4 子育てを支援する生活環境の整備

子どもが健やかに育つことのできる住宅環境づくりを促進します。

子どもたちがのびのびと安全にまちに出て遊び、また、子育て家庭が安心してまちに出かけられるよう、安全な道路環境を整備するとともに、子育て家庭の利用に配慮した施設・設備の改善を図ります。

基本目標5 職業生活と家庭生活との両立の推進

子育てと仕事が両立できるよう、ワーク・ライフ・バランスの考え方の普及に努め、職場における子育て支援を促進します。

子育てを、父親、母親が協力しあいながら楽しく進めていくことができるよう、男女共同参画の意識づくりを図ります。

基本目標6 子どもたちの安全の確保

子どもたちが安心してまちを歩けるよう、交通安全教育を推進するとともに、犯罪のない安全なまちづくりを推進します。

基本目標7 要保護児童への対応などきめ細かな取り組みの推進

子どもの人権が守られるよう、意識の向上を図るとともに、関係機関のネットワークや地域全体が連携し、児童虐待の芽を早期に発見し未然に防ぐことができる体制を整備し、児童虐待防止への迅速な対応を図ります。

母子家庭などひとり親家庭に必要な支援を図ります。

障がいの予防、早期発見から療育、教育など、障がいのある子どもの状況に応じて必要な支援を図ります。

<目 次>

1 地域における子育ての支援

- (1) 家庭における子どもの養育支援 1
- (2) 親・子の交流の促進 1
- (3) 出産・育児の相談、学習機会等の充実 3
- (4) 経済的支援の充実 3
- (5) 保育施設における保育サービスの充実 4
- (6) 放課後児童対策の充実 4

2 母性並びに乳児及び乳幼児等の健康の確保及び増進

- (1) 母子の健康の促進 5
- (2) 食育の推進 6
- (3) 思春期保健対策の充実 7
- (4) 小児医療の充実 7

3 子どもの健やかな成長に資する教育環境の整備

- (1) 次代の親の育成 8
- (2) 幼児教育の充実 8
- (3) 学校教育の充実 9
- (4) 学校教育環境の充実 10
- (5) 家庭の教育力の向上 10
- (6) 地域の教育力の向上 11
- (7) 健全育成の環境づくり 12

4 子育てを支援する生活環境の整備

- (1) 子育てしやすい住環境づくり 12
- (2) 安全な道路環境の整備 12
- (3) 子育てにやさしい町の環境 13

5 職業生活と家庭生活との両立の推進

- (1) 男女共同参画の意識づくり 13

6 子どもたちの安全の確保

- (1) 交通安全活動の推進 15
- (2) 防犯活動の推進 15

7 要保護児童への対応などきめ細かな取組の推進

- (1) 児童虐待防止対策の充実 16
- (2) ひとり親家庭の支援 17
- (3) 障がい児への支援の充実 17



箱根町次世代育成支援行動計画 平成23年度事業実績及び24年度実施状況表

1 地域における子育ての支援

H24年度 A：計画どおり実施 B：一部実施 D：検討中 E：中止 F：未実施

(1) 家庭における子どもの養育支援

H23年度 A：実施 B：一部実施 C：継続実施 D：検討中 E：中止 F：未実施

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
育児支援家庭訪問の充実	妊婦訪問指導、産婦訪問指導等を通じ、妊産婦の健康増進、子育ての悩みごとへの対応等を図る。	子育て支援課	妊婦はハイリスク者と訪問希望者、産婦は初産者と訪問希望者に対し、家庭訪問を実施し、健康状態の確認、育児指導等を行った。	C：継続実施	妊婦はハイリスク者と訪問希望者、産婦は「こんにちは赤ちゃん全戸訪問事業」と併せて家庭訪問を実施し、健康状態の確認、育児指導等を行った。 指導件数55件	A：計画どおり実施
乳幼児の健康支援	乳幼児訪問指導等を通じ、乳幼児の健やかな発育支援を図る。	子育て支援課	新生児(第1子および希望者)、ハイリスク母子、健診未受診児に対して家庭訪問を実施し、乳幼児の発達確認、疾病・虐待の予防および早期発見に努めた。 こんにちは赤ちゃん訪問(乳児全戸訪問)を実施した。45件訪問(2月まで)	C：継続実施	新生児(第1子および希望者)、ハイリスク母子、健診未受診児に対して家庭訪問を実施し、乳幼児の発達確認、疾病・虐待の予防および早期発見に努めた。 こんにちは赤ちゃん訪問(乳児全戸訪問)を実施した。54件訪問(3月まで)	A：計画どおり実施

(2) 親・子の交流の促進

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
子育て支援センター事業	子育て支援センターの周知を図るとともに、利用者のニーズを把握し、事業内容の一層の充実を図る。	子育て支援課	子育てしている親子が保育園、子育て支援センター等の利用をすることにより、育児不安等の解消やゆとりある子育てができ、児童福祉の増進が図られた。 利用者数 仙石原子育て支援センター 延べ 3,277人 湯本子育てサロン 〃 3,593人 移動子育てサロン 〃 96人	C：継続実施	子育てしている親子が保育園、子育て支援センター等の利用をすることにより、育児不安等の解消やゆとりある子育てができ、児童福祉の増進が図られた。 利用者数 仙石原子育て支援センター 延べ 3,325人 湯本子育てサロン 〃 3,142人 移動子育てサロン 〃 31人	A：計画どおり実施
親・子の交流 機会の充実	さまざまな事業を通じて、親、子が交流できる機会の充実を図る。	子育て支援課	保育園では行事等を通して親子の交流を図っている。また、未就園児については、育児教室や子育て支援センター等で交流を図った。 育児教室：年 12 回 子育て支援センター：開所 240 日 月～金曜	C：継続実施	保育園では行事等を通して親子の交流を図っている。また、未就園児については、育児教室や子育て支援センター等で交流を図った。 育児教室：年12回(延べ99組216人参加) 子育て支援センター：開所 232日 月～金曜	A：計画どおり実施
		学校教育課	幼稚園では各種行事において親子の交流を図った。	C：継続実施	幼稚園では各種行事において親子の交流を図った。	A：計画どおり実施
		生涯学習課	各地域子ども会における『親子ふれあい事業』の他、公民館事業として、親子でも参加でき、様々な体験活動の場を提供する子ども向け体験学習教室「大文字クラブ」を計10回実施した。	C：継続実施	各地域子ども会における『親子ふれあい事業』の他、公民館事業として、親子でも参加でき、様々な体験活動の場を提供する子ども向け体験学習教室「大文字クラブ」を計8回実施した。(参加者：親子・子ども等計257名)	A：計画どおり実施
	子育て支援課	子育てサロンについて、町内全域での展開を図る。	子育て支援課	仙石原幼児学園内、湯本幼児学園内及びさくら館内で子育てサロンを開設している。	C：継続実施	仙石原幼児学園内、湯本幼児学園内及びさくら館内で子育てサロンを開設している。

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
子どもの自主的な活動の促進	子ども会、スポーツ少年団等への子どもの参加を促進するとともに、指導者の確保や活動内容の充実を図る。	生涯学習課	箱根町子ども会育成団体連絡協議会において、子どもの参加促進に向けた課題解決の話し合いを実施した。	C：継続実施	箱根町子ども会育成団体連絡協議会において、子どもの参加促進に向けた課題解決の話し合いを実施した。	A：計画どおり実施
箱根っこわくわくふれあい事業	学校週5日制事業への子どもたちの参加促進を図るとともに、地域の人たちの参画による指導者の確保、親子のふれあいメニューなど活動内容の充実を図る。	生涯学習課	箱根っこわくわくふれあい事業として、PTA合同企画、親子カレーライス作り、ミニミニコンサート等親子・地域とのふれあいを中心に様々な事業を実施した。	C：継続実施	箱根っこわくわくふれあい事業として、PTA合同企画、親子カレーライス作り、ミニミニコンサート等親子・地域とのふれあいを中心に様々な事業を実施した。	A：計画どおり実施
公園など子どもの遊び場の整備	地域のニーズや観光客の利用等を踏まえるとともに、住民の参画を得ながら、公園や広場の整備を推進する。	都市整備課	小田原町公園内に健康遊具（ストレッチベンチ）を設置することで、利用者の健康向上、多目的性を図った。	C：継続実施	平成25年度整備予定の、仙石原公園憩いの森について、地域で活動する団体と意見交換等を行った。	A：計画どおり実施
	公園、広場等の設備、遊具等の定期的な点検、修繕を実施する。	都市整備課	公園パトロールを行い遊具の安全性を点検した。また、安全強化及び事故を未然に防ぐため、超音波肉厚測定検査を実施した。	C：継続実施	公園パトロールを行い遊具の安全性を点検した。また、安全強化及び事故を未然に防ぐため、超音波肉厚測定検査を実施した。	A：計画どおり実施
	住民の参画による、公園、広場の維持・管理の方法を検討する。	都市整備課	住民参画による公園等の清掃奨励制度による維持管理を実施した。また、一部公園で住民の自主活動による草刈り・樹木の手入れ等が実施された。	C：継続実施	住民参画による公園等の清掃奨励制度による維持管理を実施した。また、一部公園で住民の自主活動による草刈り・樹木の手入れ等が実施された。	A：計画どおり実施
	町営住宅の敷地の一部を活用して、子どもの遊び場としての活用を図る。	健康福祉課	前田町営住宅他6団地の敷地内に設置してある遊具等を、子どもの遊び場として利用した。	C：継続実施	前田町営住宅他6団地の敷地内に子どもの遊び場として設置	A：計画どおり実施
	公民館などを利用して、子どもたちが活動できる場の確保を図る。	生涯学習課	子どもや親子で本が読めるように、社会教育センター内にプレイルーム(幼児図書室)の開放を行った。	C：継続実施	社会教育センター内のプレイルーム(幼児用図書室)の開放を行ったほか、団体の利用がない日は、3階軽スポーツ室を子どもたち・親子に開放した。	A：計画どおり実施
保育園、幼稚園等の施設開放	家庭で保育している親子が気軽に利用できるよう、保育園、幼稚園の開放を進めるとともに、利用の促進を図る。	子育て支援課	家庭で保育している親子が気軽に利用できるよう、保育園施設を開放した。また、パンフレット等に掲載し施設利用の促進を図った。	C：継続実施	家庭で保育している親子が気軽に利用できるよう、保育園施設を開放した。また、パンフレット等に掲載し施設利用の促進を図った。	A：計画どおり実施
		学校教育課	親子が気軽に幼稚園を利用できる環境づくりを図った。	C：継続実施	親子が気軽に幼稚園を利用できる環境づくりを図った。	A：計画どおり実施
ブックスタート推進事業	乳幼児のことばと心を育むために、「絵本」を介した親子のふれあいの大切さを伝える機会の確保を図る。	生涯学習課	4ヵ月児健診時に、乳幼児とその保護者を対象に、絵本等の入ったブックスタート・バックを手渡し、絵本を介した親子のふれあいの大切さを伝えた。	C：継続実施	4ヵ月児健診時(年6回)に、絵本等の入ったブックスタート・バックを手渡し、絵本を介した親子のふれあいの大切さを伝えた。 (配布数：53セット)	A：計画どおり実施

(3) 出産・育児の相談、学習機会等の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
学習機会の充実	子どもの育ちや子育てなどに係るさまざまな学習機会の内容の充実を図るとともに、参加しやすい運営に努める。	子育て支援課	乳幼児を対象とした育児教室及び健診時における集団教育を開催するなどの情報提供を行い、より多くの親に学習機会への参加を働きかけている。	C：継続実施	乳幼児を対象とした育児教室及び健診時における集団教育を開催するなどの情報提供を行い、より多くの親に学習機会への参加を働きかけている。	A：計画どおり実施
情報提供・相談体制の充実	広報紙やパンフレット、ホームページなどさまざまな媒体を活用し、子育て家庭に必要な情報の提供を図る。	子育て支援課	町広報紙や健診・各教室時に配布する保健パンフレット等を利用し、子育てに関する情報を提供した。また、子育て支援センターにおいては、「子育てだより」を発行し、各家庭や保育園、幼稚園等の施設に配布している。	C：継続実施	町広報紙や健診・各教室時に配布する保健パンフレット等を利用し、子育てに関する情報を提供した。また、子育て支援センターにおいては、「子育てだより」を発行し、各家庭や保育園、幼稚園等の施設に配布している。	A：計画どおり実施
	関係機関における相談担当員の資質の向上を図るとともに、相談しやすい環境づくり、関係機関相互の連携の強化を図る。	子育て支援課	相談担当職員に研修を受講させ、資質の向上を図るとともに、相談体制の環境整備に努め、関係機関間との連携強化を図った。	C：継続実施	相談担当職員に研修を受講させ、資質の向上を図るとともに、相談体制の環境整備に努め、関係機関間との連携強化を図った。	A：計画どおり実施
		学校教育課	幼稚園教諭は、各研修を受講し資質の向上を図った。	C：継続実施	幼稚園教諭は、各研修を受講し資質の向上を図った。	A：計画どおり実施
		健康福祉課	5月の民生委員児童委員活動強化週間を中心に、委員活動の周知を行ったほか、様々な研修等を通じて委員の資質向上を図った。	C：継続実施	5月の民生委員児童委員活動強化週間を中心に、委員活動の周知を行ったほか、様々な研修等を通じて委員の資質向上を図った。	A：計画どおり実施
育児サークル等住民の活動の促進	子育ての各種講座・教室の卒業生などへ、育児サークルへの参加や組織の結成などを促進するとともに、住民へ育児サークル等の活動についての情報提供を図る。	子育て支援課	乳幼児健診や育児教室の時に、子育て支援センターや子育てサロンに関するパンフレット等を配布し、参加を促進した。	C：継続実施	乳幼児健診や育児教室の時に、子育て支援センターや子育てサロンに関するパンフレット等を配布し、参加を促進した。	A：計画どおり実施

(4) 経済的支援の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
各種手当、医療費の助成等	児童手当、小児医療費の助成、就学援助など各種の経済的援助について、国等の動向を踏まえて充実を図るとともに、制度を住民に周知し、利用促進に努める。	子育て支援課	小児医療費助成などにより、経済的援助を図った。また、子ども手当や小児医療の助成制度を広報誌や町のホームページなどに掲載し、住民への周知を図った。	C：継続実施	小児医療費助成などにより、経済的援助を図った。また、児童手当や小児医療の助成制度を広報誌や町のホームページなどに掲載し、住民への周知を図った。	A：計画どおり実施

(5) 保育施設における保育サービスの充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
幼児学園の整備	就学前のすべての子どもに必要な保育・教育の充実を図るため、幼保一元化により、幼児学園としての整備を図る。	子育て支援課 学校教育課	中央幼児学園について、中央地域の保護者との意見交換会を開催した。	C：継続実施	中央幼児学園については公共施設配置研究会において検討することとなった。	D：検討中
保育園等における保育の充実	子どもにとってより好ましい保育環境を念頭に、保護者のニーズに応じた保育サービスの充実を図る。	子育て支援課	各保育園等においては、子どもにとってより良い保育環境を整備し、保護者のニーズに応じた保育サービスを行っている。	C：継続実施	各保育園等においては、子どもにとってより良い保育環境を整備し、保護者のニーズに応じた保育サービスを行っている。	A：計画どおり実施
	家庭の事情等を踏まえ、延長保育や一時保育を推進する。	子育て支援課	湯本、宮城野、仙石原保育園の3園において、一時保育を実施している。	C：継続実施	湯本、宮城野、仙石原保育園の3園において、一時保育を実施している。	A：計画どおり実施
	子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かい保育を行なえるよう、研修等を充実し保育士の資質向上を図る。	子育て支援課 学校教育課	子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かい保育を行なえるよう、充実した内容の保育研修等を行い、保育士の資質向上を図った。	C：継続実施	子どもたち一人ひとりの状況に応じたきめ細かい保育を行なえるよう、充実した内容の保育研修等を行い、保育士の資質向上を図った。	A：計画どおり実施
幼稚園の預かり保育	保護者のニーズを踏まえ、幼稚園の預かり保育の充実に努める。	学校教育課	保護者のニーズに合った、幼稚園の預かり保育を実施し保育の充実に努めた。	C：継続実施	保護者のニーズに合った、幼稚園の預かり保育を実施し保育の充実に努めた。	A：計画どおり実施
保育園、幼稚園等の施設整備	幼児学園の整備に併せ、老朽化している施設の改善を図る。	子育て支援課 学校教育課	宮城野保育園給食室入口ドア修繕、箱根幼稚園駐車場柵補修等、老朽化などによる不具合箇所の補修を行った。	C：継続実施	宮城野保育園給食室入口ドア修繕、箱根幼稚園駐車場柵補修等、老朽化などによる不具合箇所の補修を行った。 温泉幼稚園屋外階段タイル補修等、老朽化などによる不具合箇所の補修を行った。	A：計画どおり実施
保育園、幼稚園等における安全の確保	保育園、幼稚園等の防犯体制の強化を図る。	子育て支援課	保育園では、緊急通報システムを設置し防犯体制の強化を図っている。また、防犯訓練を実施した。	C：継続実施	保育園では、緊急通報システムを設置し防犯体制の強化を図っている。また、防犯訓練を実施した。	A：計画どおり実施
		学校教育課	幼稚園では、緊急通報システムを設置し、防犯体制の強化を図っている。また、防犯訓練を実施した。	C：継続実施	幼稚園では、緊急通報システムを設置し、防犯体制の強化を図っている。また、防犯訓練を実施した。	A：計画どおり実施
関係機関等の連携	保育園、幼稚園、町その他関係機関が連携し、就学前児童の適切な保育、教育を図る。	子育て支援課 学校教育課	保育園、幼稚園、小学校、保健福祉事務所、児童相談所等が連携し、就学前児童の適切な保育及び教育を行っている。	C：継続実施	保育園、幼稚園、小学校、保健福祉事務所、児童相談所等が連携し、就学前児童の適切な保育及び教育を行っている。	A：計画どおり実施

(6) 放課後児童対策の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
放課後児童健全育成事業	利用者のニーズを調査し、預かり時間の拡充や活動内容の充実、指導者の資質の向上を図る。	子育て支援課	各小学校学区で放課後児童クラブを開設(18時まで)している。 指導員打合せ時にミニ研修を入れ、資質の向上を図った。	C：継続実施	各小学校学区で放課後児童クラブを開設(18時まで)している。(各クラブ定員16名) ・湯本こどもクラブ 12名 ・きんときクラブ 17名 ・箱根こどもクラブ 13名	A：計画どおり実施

2 母性並びに乳児及び乳幼児等の健康の確保及び増進

(1) 母子の健康の促進

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
妊婦・乳幼児 健康診査	妊婦、乳幼児の健康診査の未受診者を的確に把握し、受診を促進する。	子育て支援課	各健診未受診者に対し、文書・電話・訪問等で受診勧奨を実施した。乳幼児健診未受診児の中で虐待等の危険性が高いハイリスクケースの場合は、関係機関間で情報を共有する体制とした。	C：継続実施	各健診未受診者に対し、文書・電話・訪問等で受診勧奨を実施した。乳幼児健診未受診児の中で虐待等の危険性が高いハイリスクケースの場合は、関係機関間で情報を共有する体制とした。	A：計画どおり実施
	ハイリスク妊婦や発達の遅れが見られる子ども等への適切な対応を図る。	子育て支援課	ハイリスク妊婦に対しては、訪問指導等を実施した。発達の遅れが見られる、または疑われる子どもに対しては、必要に応じて専門機関との調整を行い、早期発見・早期療育に努めた。	C：継続実施	ハイリスク妊婦に対しては、訪問指導等を実施した。発達の遅れが見られる、または疑われる子どもに対しては、必要に応じて専門機関との調整を行い、早期発見・早期療育に努めた。	A：計画どおり実施
妊婦・新生児 訪問指導	妊産婦、新生児へ適切な時期に訪問指導を行い、妊産婦、新生児の健康の増進と、子育てに抱える悩みへの対応を図る。	子育て支援課	妊婦には、適切な時期に、産婦・新生児には生後1か月前後に、家庭訪問を実施し、妊産婦の心身の健康状態の確認と、新生児の健康状態や発達確認のほか、疾病・虐待の予防や早期発見に努めた。 こんには赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）を実施。 45件訪問（2月まで）	C：継続実施	妊婦には、適切な時期に、産婦・新生児には生後1か月前後に、家庭訪問を実施し、妊産婦の心身の健康状態の確認と、新生児の健康状態や発達確認のほか、疾病・虐待の予防や早期発見に努めた。 こんには赤ちゃん訪問（乳児全戸訪問）を実施。 54件訪問（3月まで）	A：計画どおり実施
妊婦・乳幼児 歯科健康診査	より早期からのう蝕予防として妊婦歯科健康診査を促進する。	子育て支援課	生まれてくる子どもへの影響を視野に入れた妊娠期から継続して支援していくために、妊婦歯科健康診査を実施した。	C：継続実施	生まれてくる子どもへの影響を視野に入れた妊娠期から継続して支援していくために、妊婦歯科健康診査を実施した。	A：計画どおり実施
	1歳児歯科教室以降、6か月毎に歯科健康診査を実施し、幼児期のう蝕予防を促進する。		1歳児歯科教室以降、3歳6か月児まで6か月毎に歯科健康診査を実施し、う蝕予防および早期発見に努めた。	C：継続実施	1歳児歯科教室以降、3歳6か月児まで6か月毎に歯科健康診査を実施し、う蝕予防および早期発見に努めた。	A：計画どおり実施

(2) 食育の推進

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
食生活に関する学習機会	離乳食講習会の開催日時の工夫等、より多くの人たちが参加できる運営に努める。	子育て支援課	毎月1回開催し、4か月及び8～9か月児健診時に、離乳食教室への参加を勧奨した。	C：継続実施	毎月1回開催し、4か月及び8～9か月児健診時に、離乳食教室への参加を勧奨した。	A：計画どおり実施
	食生活改善推進事業の充実を図る。	健康福祉課	親子ふれあい食教室でプランターを利用しての野菜づくり体験、また、食文化継承教室で伝統食や行事食の実習・体験などを行い食生活改善・食育の推進を図った、また、主に30～40代の方をねらった骨粗鬆症の予防教室を実施した。 ・幼稚園（温泉及び箱根）児を対象に食に関する講話や野菜について考えるなどの食教育を実施した。	C：継続実施	・親子ふれあい食教室（2回実施、1回目：10組20名、2回目：5組10名） ・食文化継承教室（4回実施・14名） ・骨粗鬆症予防教室（1回実施・34名） ・幼稚園食育（各園2回実施）	A：計画どおり実施
	食生活と健康などに関する情報提供を図る。	健康福祉課	・「広報」、「町だより」、「健康だより」に健康づくり及び食育に関する情報を掲載した。 ・乳幼児健診、各教室等の保健事業時にパンフレット等を利用した情報提供を実施した。	C：継続実施	・「広報」（11回）、「町だより」（5回）に健康づくり及び食育に関する情報を掲載した。 ・幼稚園での食育の場で、保護者に対し食生活と健康に関する情報を提供した。（2回実施・16名）	A：計画どおり実施
保育園、幼稚園における食育	給食を通して食育の充実を図る。	子育て支援課 学校教育課	・保育者による食育に関する絵本の読み聞かせなどを実施した。 ・小田原漆器を使用した行事食を実施した。 ・園児保護者を対象とした給食試食会・食教育を実施した。 ・給食に使用する旬の食材等に触れる食育を実施した。 ・保護者と園児に対してサンプルの掲示を実施した。 ・「給食たより」などの配布物による食に関する情報提供を実施した。	C：継続実施	・保育者による食育に関する絵本の読み聞かせなどを実施した。 ・小田原漆器を使用した行事食を実施した。 ・園児保護者を対象とした給食試食会・食教育を実施した。 ・給食に使用する旬の食材等に触れる食育を実施した。 ・保護者と園児に対してサンプルの掲示を実施した。 ・「給食たより」などの配布物による食に関する情報提供を実施した。	A：計画どおり実施

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
学校教育における食育	給食を通して食育の充実を図る。	学校教育課	給食時間には、栄養士が各学級を巡回し、食育指導を行っている。また、学級担任と養護教諭、栄養士が中心となって、総合的な学習時間や家庭科、社会科など各教科の中で、食育に関する教育を実施している。	C：継続実施	給食時間には、栄養士が各学級を巡回し、食育指導を行っている。また、学級担任と養護教諭、栄養士が中心となって、総合的な学習時間や家庭科、社会科など各教科の中で、食育に関する教育を実施している。	A：計画どおり実施
	学校給食の内容などに関して、保護者や子どもへの情報提供に努める。	学校教育課	栄養士が作成した「献立表」・「給食だより」や養護教諭が作成した「保健だより」を発行したほか、試食会等様々な機会でも保護者等に対し、給食の内容や食の大切さについて情報提供や意見交換を実施した。また、「お弁当の日」を実施し、家庭と連携した食育を実施した。	C：継続実施	栄養士が作成した「献立表」・「給食だより」や養護教諭が作成した「保健だより」を発行したほか、試食会等様々な機会でも保護者等に対し、給食の内容や食の大切さについて情報提供や意見交換を実施した。また、「お弁当の日」を実施し、家庭と連携した食育を実施した。	A：計画どおり実施

(3) 思春期保健対策の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
健全な生活の指導	学校と保健部門との連携を強化し、子どもの健康な心身をつくるための適切な指導を図る。	学校教育課	保健部門との連携の基に、養護教諭及び担任教諭が中心となり児童生徒に対し、健全な生活に関する指導を図った。	C：継続実施	保健部門との連携の基に、養護教諭及び担任教諭が中心となり児童生徒に対し、健全な生活に関する指導を図った。	A：計画どおり実施
		子育て支援課	学校保健部門との連携が必要な子どもについては、個別に対応することで実施した。	B：一部実施	学校保健部門との連携が必要な子どもについては、個別に対応することで実施した。	A：計画どおり実施
悩みごとの相談体制の充実	子どもたちの悩みごとなどに対して、日頃から気軽に相談できる環境づくりに努める。	学校教育課	子どもたちの悩みごとに対し、スクールカウンセラーや適応指導教諭を配置した他、学校教育指導員を雇用するなど、相談できる環境を整えた。 また、教育支援室の直通電話番号とメールアドレスを町HPと広報誌に掲載し、相談しやすい環境づくりを図った。	C：継続実施	子どもたちの悩みごとに対し、スクールカウンセラーや適応指導教諭を配置した他、学校教育指導員を雇用するなど、相談できる環境を整えた。 また、教育支援室の直通電話番号とメールアドレスを町HPと広報誌に掲載し、相談しやすい環境づくりを図った。	A：計画どおり実施
		子育て支援課	市町村が児童に関する一義的な相談支援機関として位置づけられたことを受け、「子どもに関する総合窓口」を開設したことについて広報等で周知した。	C：継続実施	市町村が児童に関する一義的な相談支援機関として位置づけられたことを受け、「子どもに関する総合窓口」を開設したことについて広報等で周知した。	A：計画どおり実施

(4) 小児医療の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
医療体制の整備促進	広域的な連携のもと、救急医療体制の強化を図る。	健康福祉課	休日急患救急医療推進事業、休日夜間急患診療所運営事業及び広域二次病院群輪番制事業を実施し、広域的な連携のもと、救急医療を行った。	C：継続実施	町内休日急患当番医（医科：7医療機関、歯科：4医療機関）による診療実績（4～12月：医科285件、歯科98件）	B：一部実施
かかりつけ医の促進	保健活動や保健だよりなどを活用して、かかりつけ医の促進を図る。	健康福祉課	かかりつけ医を促進するため、広報、保健だよりにより町内医療機関一覧表を掲載し、その必要性をPRした。	C：継続実施	さらなる「かかりつけ医」の促進のため、地域医療講演会の実施、町内医療機関案内用冊子を作成し全世帯及び転入者へ配付した。	A：計画どおり実施

3 子どもの健やかな成長に資する教育環境の整備

(1) 次代の親の育成

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
乳幼児等とふれあう機会の促進	学校教育と保健事業が連携し、「赤ちゃんふれあい体験教室」等の機会の拡充を図る。	学校教育課	各小・中学校が、幼稚園・保育園との交流学习(運動会、学習発表会等)を実施した。また、中学生がボランティア活動として、幼稚園・保育園に行った。	C：継続実施	各小・中学校が、幼稚園・保育園との交流学习(運動会、学習発表会等)を実施した。また、中学生がボランティア活動として、幼稚園・保育園に行った。	A：計画どおり実施

(2) 幼児教育の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
幼児学園の整備	就学前のすべての子どもに必要な保育・教育の充実を図るため、幼保一元化により、幼児学園としての整備を図る。	子育て支援課 学校教育課	中央幼児学園について、中央地域の保護者との意見交換会を開催した。(23/11/16：さくら館)	C：継続実施	今後の方向性について「公共施設配置研究会」において協議検討するとの方向性が示された。	D：検討中
教育内容の充実	社会環境の変化や保護者のニーズ等に対応できるよう、教職員の研修等を充実するとともに、教育内容の充実を図る。	学校教育課	幼保教職員の研修機会を設けたほか、園内研究には指導主事が加わり、幼児教育の充実に努めた。	C：継続実施	幼保教職員の研修機会を設けたほか、園内研究には指導主事が加わり、幼児教育の充実に努めた。	A：計画どおり実施
生きた英語教育の充実	町立小中学校に外国人講師を派遣し、総合的な学習の時間や特別活動等において、国際理解教育を積極的に推進する。また、幼児期における国際理解教育のあり方を研究する。	学校教育課	母国語を英語とする(ネイティブ・スピーカー)英語講師を小中学校及び箱根幼稚園に派遣、フルタイム1名は中学校と小学校高学年を、パートタイム1名は小学校低学年と箱根幼稚園を担当し、国際理解教育の充実に努めた。	C：継続実施	町立小中学校に外国人講師を派遣し、総合的な学習の時間や特別活動等において、国際理解教育を積極的に推進する。	B：一部実施
幼稚園、保育園等における安全の確保	幼稚園、保育園等の防犯体制の強化を図る。	子育て支援課 学校教育課	保育園、幼稚園では、緊急通報システムを設置し、防犯体制の強化を図った。また、防犯訓練を実施した。	C：継続実施	保育園、幼稚園では、緊急通報システムを設置し、防犯体制の強化を図った。また、防犯訓練を実施した。	A：計画どおり実施
幼稚園、保育園、小学校等との連携	子どもの一貫した健康や生活習慣の確立、学習の推進を図るため、幼稚園と保育園、小学校等との連携を推進する。	子育て支援課 学校教育課	保育園・幼稚園では、子どもの一貫した健康や生活習慣の確立と学習の推進を図るため、小学校等との合同研修や話し合いの場を設けるなどして連携に努めた。	C：継続実施	保育園・幼稚園では、子どもの一貫した健康や生活習慣の確立と学習の推進を図るため、小学校等との合同研修や話し合いの場を設けるなどして連携に努めた。	A：計画どおり実施

(3) 学校教育の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
教育内容の充実	時代の要請や社会環境の変化等を踏まえ、各学校ごとに特色のある教育の推進に努める。	学校教育課	人、自然、郷土のふれあい等、豊富な体験学習を通じ豊かな心を育む教育を推進した。少子化に伴い、学校間の交流や国内・国際交流活動を通じ教育の向上を図った。	C：継続実施	人、自然、郷土のふれあい等、豊富な体験学習を通じ豊かな心を育む教育を推進した。少子化に伴い、学校間の交流や国内・国際交流活動を通じ教育の向上を図った。	A：計画どおり実施
	教職員研修の充実と参加促進、また、学校間の交流を図る。	学校教育課	教職員に対し、教育的ニーズや今日的課題解決に向けた内容の研修を実施した。また、地域教育、英語、パソコン等の研修により、箱根教育の充実を図った。	C：継続実施	教職員に対し、教育的ニーズや今日的課題解決に向けた内容の研修を実施した。また、地域教育、英語、パソコン等の研修により、箱根教育の充実を図った。	A：計画どおり実施
部活動の充実	部活動指導者として住民の参画を図る。	学校教育課	運動部活動の活性化を図るため民間指導員を登用した。	C：継続実施	運動部活動の活性化を図るため民間指導員を登用した。	A：計画どおり実施
生きた英語教育の充実	町立小中学校に外国人講師を派遣し、総合的な学習の時間や特別活動等において、国際理解教育を積極的に推進する。また、幼児期における国際理解教育のあり方を研究する。	学校教育課	母国語を英語とする（ネイティブ・スピーカー）英語講師を小中学校及び箱根幼稚園に派遣、フルタイム1名は中学校と小学校高学年を、パートタイム1名は小学校低学年と箱根幼稚園を担当し、国際理解教育の充実を努めた。	C：継続実施	母国語を英語とする（ネイティブ・スピーカー）英語講師を小中学校に派遣。講師1名が中学校と小学校高学年を担当し、国際理解教育の充実を努めた。	A：計画どおり実施
健康教育の推進	保健事業との連携を図りながら、各種冊子の活用や講演会、研修会への参加などを通じ、子どもの健康の向上を図る。	学校教育課	学校においては、養護教諭が「保健だより」等を作成し、情報提供を行う他、校内保健委員会が中心となって、児童生徒や保護者に対して、心身の健康を大切にしたい教育の推進を実施した。また、学校内だけではなく、家庭や地域関係機関との連携を深めた指導やサポート体制の強化を図ったもの。	C：継続実施	学校においては、養護教諭が「保健だより」等を作成し、情報提供を行う他、校内保健委員会が中心となって、児童生徒や保護者に対して、心身の健康を大切にしたい教育の推進を実施した。また、学校内だけではなく、家庭や地域関係機関との連携を深めた指導やサポート体制の強化を図ったもの。	A：計画どおり実施
心の育成の推進	子どもたちが人に対する思いやりの心、強い意志を持った豊かな人間性のある大人に育っていけるよう、福祉体験などの活動を推進する。	学校教育課	小学校がさくら館にて福祉の体験学習を実施する他、幼稚園との交流学習も体験した。中学校では町内福祉施設にて介護体験を実施した。	C：継続実施	小学校がさくら館にて福祉の体験学習を実施する他、幼稚園との交流学習も体験した。中学校では町内福祉施設にて介護体験を実施した。	A：計画どおり実施
悩みごとの相談体制	子どもたちの悩みごとなどに対して、日頃から気軽に相談できる環境づくりに努める。	学校教育課	子どもたちの悩みごとに対し、スクールカウンセラーや適応指導教諭を配置した他、学校教育指導員を雇用するなど、相談できる環境を整えた。また、教育支援室の直通電話番号とメールアドレスを町HPと町広報誌に掲載し、相談しやすい環境づくりを図った。	C：継続実施	子どもたちの悩みごとに対し、スクールカウンセラーや適応指導教諭を配置した他、学校教育指導員を雇用するなど、相談できる環境を整えた。また、教育支援室の直通電話番号とメールアドレスを町HPと町広報誌に掲載し、相談しやすい環境づくりを図った。	A：計画どおり実施
いじめ、不登校等への対応	いじめ、不登校等の防止、適切な対応を図るため、教職員と相談員との連携を図る。	学校教育課	教育支援室と学校との情報交換及び教育相談員の学校訪問を実施し、不登校等防止に対する適切な対応を図った。	C：継続実施	教育支援室と学校との情報交換及び教育相談員の学校訪問を実施し、不登校等防止に対する適切な対応を図った。	A：計画どおり実施
	「適応指導教室」や指導員訪問体制の充実を図る。（「適応指導教室」は、平成19年度より「教育支援室」に	学校教育課	いじめや不登校等に対応するため、教育支援室や教育相談員の学校訪問に対する体制の整備を図った。	C：継続実施	いじめや不登校等に対応するため、教育支援室や教育相談員の学校訪問に対する体制の整備を図った。	A：計画どおり実施

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
家庭、地域との連携による学校づくり	学校評議員の活用や学校評価システムの導入など、住民の参画による学校づくりを図る。	学校教育課	住民の参画による学校づくりを図るため、学校評議員制度を活用するほか、学校評価による住民の意見を学校運営に適切に反映している。	C：継続実施	住民の参画による学校づくりを図るため、学校評議員制度を活用するほか、学校評価による住民の意見を学校運営に適切に反映している。	A：計画どおり実施
	公開事業の開催や「学校へ行く週間」などを通じ、地域に開かれた学校づくりを図る。	学校教育課	地域に開かれた学校づくりを図るため、すべての幼稚園小・中学校において学校公開を実施した。	C：継続実施	地域に開かれた学校づくりを図るため、すべての幼稚園小・中学校において学校公開を実施した。	A：計画どおり実施

(4) 学校教育環境の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
学校施設・設備の整備	学校生活の安全を最優先に、学校施設の整備を図る。	学校教育課	箱根の森小学校体育館の屋根改修や箱根中学校の管理棟防水改修等施設の整備を図った。	C：継続実施	湯本小学校体育館の屋根改修、箱根中学校の体育館屋根雨漏補修、箱根中学校普通教室・特別支援教室扇風機設置、湯本小学校普通教室扇風機設置工事等施設の整備を図った。	A：計画どおり実施
	学習活動に必要な機器など、教育設備の整備を図る。	学校教育課	箱根中学校体育館の照明設備等の教育環境設備の整備を図った。	C：継続実施	箱根中学校屋内運動場各種コートライン変更工事等の教育環境設備の整備を図った。	A：計画どおり実施
学校の安全対策の強化	地域住民の参画を得ながら、学校における防犯対策の強化を図る。	学校教育課	地域住民に登下校時における見守り体制の協力を依頼し、児童の安全確保を図った他、各校において不審者侵入時の対応訓練を実施し、防犯対策の強化を図った。	C：継続実施	地域住民に登下校時における見守り体制の協力を依頼し、児童の安全確保を図った他、各校において不審者侵入時の対応訓練を実施し、防犯対策の強化を図った。	A：計画どおり実施

(5) 家庭の教育力の向上

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
学習機会、情報提供	保育園、幼稚園、小・中学校における家庭教育の場の充実を図るとともに、相互の連携を強化する。	学校教育課	幼稚園では、保護者会や行事等を通じ、家庭教育の場の充実を図った。また、家庭教育講座を開催したり、保育園、小・中学校と話し合い等を設け相互理解を深めた。	C：継続実施	幼稚園では、保護者会や行事等を通じ、家庭教育の場の充実を図った。また、家庭教育講座を開催したり、保育園、小・中学校と話し合い等を設け相互理解を深めた。	A：計画どおり実施
		子育て支援課	保育園では、保護者会や行事等を通じ、家庭教育の場の充実を図った。また、幼稚園の主催で行われた家庭教育講座に参加したり幼稚園、小・中学校と話し合い等を設け相互理解を深めた。	C：継続実施	保育園では、保護者会や行事等を通じ、家庭教育の場の充実を図った。また、幼稚園の主催で行われた家庭教育講座に参加したり幼稚園、小・中学校と話し合い等を設け相互理解を深めた。	A：計画どおり実施
	学校教育課	幼稚園では、子どもの教育、養育等を記載した「園だより」の発行や掲示物等を通して情報提供をした。	C：継続実施	幼稚園では、子どもの教育、養育等を記載した「園だより」の発行や掲示物等を通して情報提供をした。	A：計画どおり実施	
	子育て支援課	育児教室等の各保健事業の実施時に、養育等に係ることの他、家庭教育に関することについても情報提供した。	C：継続実施	育児教室等の各保健事業の実施時に、養育等に係ることの他、家庭教育に関することについても情報提供した。	A：計画どおり実施	

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
地域における活動の促進	地域住民の協力のもと、子どもたちのさまざまな体験活動などを推進する。	学校教育課	地域行事(子供会・育成会等、健民祭、地域等の祭)への参加。 学校行事(美化清掃・地域の職場体験学習、昔ながらのあそびや暮らしの伝承、芦ノ湖でマスの稚魚放流、交通安全教室)の参加。	C：継続実施	地域行事(子供会・育成会等、健民祭、地域等の祭)への参加。 学校行事(美化清掃・地域の職場体験学習、昔ながらのあそびや暮らしの伝承、芦ノ湖でマスの稚魚放流、交通安全教室)の参加。	A：計画どおり実施
		生涯学習課	地域青少年育成会がキャンプなどを行い、子どもたちに体験活動の場を提供した。	C：継続実施	地域青少年育成会がキャンプなどを行い、子どもたちに体験活動の場を提供した。	A：計画どおり実施
	青少年育成会の活動を促進する。	生涯学習課	各地域青少年育成会の活動を促進するため、青少年指導員等との連携を強化した。	C：継続実施	各地域青少年育成会の活動を促進するため、青少年指導員等との連携を強化した。	A：計画どおり実施

(6) 地域の教育力の向上

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
地域資源の活用	子どもたちがさまざまな体験活動や交流などを行えるよう、本町の豊かな自然環境や文化財、観光関連も含めた各種施設などを活用していく。	生涯学習課	郷土資料館職員による『わらじづくり体験』及び『わらじで石畳を歩く』などを町内小学校等で実施した。	C：継続実施	郷土資料館職員による『わらじづくり体験』及び『わらじで石畳を歩く』などを町内小学校等で実施した。	A：計画どおり実施
		学校教育課	地域行事(子供会・育成会等、健民祭、地域等の祭)への参加。 学校行事(美化清掃・地域の職場体験学習、昔ながらのあそびや暮らしの伝承、交通安全教室)の参加。	C：継続実施	地域行事(子供会・育成会等、健民祭、地域等の祭)への参加。 学校行事(美化清掃・地域の職場体験学習、昔ながらのあそびや暮らしの伝承、交通安全教室)の参加。	A：計画どおり実施
地域の人材の活用	さまざまな知識や技能を持つ地域の人材の「箱根町地域人材登録者制度」への登録を促進する。	生涯学習課	検討中	D：検討中	検討中	D：検討中
地域におけるスポーツ機会の充実	各種のスポーツ教室などを開催する。	生涯学習課	スポーツ機会の充実を図るため、元全日本ヘッドコーチや元日本代表によるバスケットボール教室を実施した。	C：継続実施	スポーツ機会の充実を図るため、元全日本ヘッドコーチや元日本代表によるバスケットボール教室を実施した。	A：計画どおり実施
	スポーツ少年団など、地域の活動への子どもたちの参加を促進する。	生涯学習課	スポーツ少年団の指導者と協力しながら、子どもたちの地域活動への参加促進を図った。	C：継続実施	スポーツ少年団の指導者と協力しながら、子どもたちの地域活動への参加促進を図った。	A：計画どおり実施
	総合型地域スポーツクラブについて調査・研究する。	生涯学習課	学校施設開放利用団体にパンフレット配布、啓発を行った。また、県体育センターに依頼し、講習会を開催した。	C：継続実施	学校施設開放利用団体にパンフレット配布、啓発を行った。また、仙石原地域に新たに星槎箱根仙石原総合型スポーツクラブが開設された。	A：計画どおり実施

(7) 健全育成の環境づくり

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
健全育成活動の推進	青少年関係団体、社会教育関係団体等の活動を促進する。	生涯学習課	青少年指導員を中心に、各地域青少年育成会、高校保護者会など、青少年・社会教育関係団体と連携して、青少年の健全育成についての取り組みを実施した。	C：継続実施	青少年指導員を中心に、各地域青少年育成会、高校保護者会など、青少年・社会教育関係団体と連携して、青少年の健全育成についての取り組みを実施した。	A：計画どおり実施
有害環境の改善	街頭パトロールなどの運動や、地域の商店や事業所等の協力により、地域の有害環境の改善を図る。	生涯学習課	青少年指導員が事業所等の協力により、カフェボックスの実態について調査を行ったほか、青少年育成会を中心とした街頭パトロールを実施した。	C：継続実施	青少年指導員が事業所等の協力により、カフェボックスの実態について調査を行ったほか、青少年育成会を中心とした街頭パトロールを実施した。	A：計画どおり実施

4 子育てを支援する生活環境の整備

(1) 子育てしやすい住環境づくり

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
子育て世帯向けの住宅の供給	子育て世帯が暮らしやすい設備に配慮しながら、町営住宅の整備に努める。	健康福祉課	住居の安心・安全に配慮した維持補修を行った。	C：継続実施	住居の安心・安全に配慮した維持補修を行った。	A：計画どおり実施
	「箱根町子育て勤労者支援住宅」については、入居者ニーズを十分踏まえた上で、計画的に良質な住環境の向上に努める。	子育て支援課	良質な住環境の提供のため、修繕工事等を執行した。	C：継続実施	良質な住環境の提供のため、修繕工事等を執行した。 H25.2月末時点 入居世帯9世帯 修繕工事件数10件	B：一部実施
居住環境の向上	総合的・計画的なまちづくり施策と連携を図り、少子化へ対応した住環境の整備を図る。	都市整備課	公共施設のユニバーサルデザイン化など快適な居住空間の形成を進めた。	C：継続実施	公共施設のユニバーサルデザイン化など快適な居住空間の形成を進めた。	A：計画どおり実施
		企画課	個人住宅取得資金利子補給制度及び保証料補助金制度の活用により、定住化を図った。 ・空き家・空き室情報のホームページ掲載 ・住宅相談窓口の設置	C：継続実施	個人住宅取得資金利子補給制度及び保証料補助金制度の活用により、定住化を図った。 ・空き家・空き室情報のホームページ掲載	A：計画どおり実施

(2) 安全な道路環境の整備

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
道路、歩道等の整備	地権者の理解と協力を得ながら、計画的に道路、歩道の整備を図る。	都市整備課	町道宮185号線道路整備工事 L=165.0m	C：継続実施	町道宮185号線道路整備工事 L=46m	A：計画どおり実施
	既存駐車場の有効活用を図るとともに、民間の協力のもと、駐車場の確保を図る。	都市整備課	指定管理者制度を導入して既存駐車場の有効活用を図った。	C：継続実施	指定管理者制度を導入して既存駐車場の有効活用を図った。	A：計画どおり実施
	国・県道については、道路管理者へ整備推進を働きかけ、事業促進のための支援協力を行う。	都市整備課	国・県に対し、道路、歩道整備の要望を行ったほか、事業の促進を図った。	C：継続実施	国・県に対し、道路、歩道整備の要望を行ったほか、事業の促進を図った。	A：計画どおり実施

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
交通安全施設の整備	地域の要望を踏まえながら、交通安全施設の整備を図る。	都市整備課	交通安全施設整備工事 ・道路反射鏡設置 9箇所整備 ・防護柵設置 1箇所整備 ・区画線設置 4,870m	C : 継続実施	交通安全施設整備工事 ・道路反射鏡設置 13箇所整備 ・区画線設置 1,911m	A : 計画どおり実施
		総務課	町設置の交通安全施設を点検整備し、施設の維持管理を行った。 ・道路反射鏡の整備 ・十字・T字路面表示 ・道路横断旗の整備	C : 継続実施	町設置の交通安全施設を点検整備し、施設の維持管理を行った。 ・道路反射鏡の整備 ・十字・T字路面表示	A : 計画どおり実施

(3) 子育てにやさしい町の環境

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
公共施設・公共交通機関等のバリアフリー化	公共施設等における段差の解消や授乳室等の設置など、子育て世帯が利用しやすい施設・設備の促進に努める。	財務課	新たな整備などは行っていないが、引き続き子育てにやさしい施設、設備を整えていきたい。	C : 継続実施	関連資料館の段差のスロープ化、手すり設置を行った。引き続き、子育てにやさしい施設、設備を整えていきたい。	A : 計画どおり実施
		観光課	森のふれあい館では授乳希望者に事務所奥の和室を開放している。また女子トイレにベビーベットを設置し対応している。 湖尻公衆トイレにおいては女子トイレにあるベビーシートを改修した。	B : 一部実施	森のふれあい館では授乳希望者に事務所奥の和室を開放している。また女子トイレにベビーベットを設置し対応している。 畑宿公衆トイレにおいて、神奈川県福祉のまちづくり条例に基づきバリアフリー化を図った。	A : 計画どおり実施
	都市整備課	バス、電車および駅舎など公共交通の移動円滑化を促進するため、交通事業者への改善要望や必要に応じた支援協力を行う。	鉄道事業者に対して、バリアフリー化を含む要望を行った。	C : 継続実施	鉄道事業者が実施する、駅舎等のバリアフリー化事業（国庫補助）について、事業協力を行った。	A : 計画どおり実施
バリアフリー施設の情報提供	子育て世帯の利用に配慮した施設・設備の整備情報を町内・外に広く発信し、子育て環境の向上につなげる。	子育て支援課	子育て世帯の利用に配慮したバリアフリーに関する情報を保育園等に紹介し、子育て環境の向上につなげていくことを検討している。	C : 継続実施	子育て世帯の利用に配慮したバリアフリーに関する情報を保育園等に紹介し、子育て環境の向上につなげていくことを検討している。	B : 一部実施

5 職業生活と家庭生活との両立の推進

(1) 男女共同参画の意識づくり

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
事業所における子育て支援の促進	男女平等の視点に立った雇用環境の整備に努める。	企画課	「はこね男女共同参画推進プラン」を町の広報やホームページに掲載し、事業所に周知を図っている。	C : 継続実施	「はこね男女共同参画推進プラン」を町の広報やホームページに掲載した。また、平成27度からの新プラン作成に向けて準備をしている。	A : 計画どおり実施
		観光課	男女平等の視点に立った雇用環境の整備が図られるよう事業者に対し、普及啓発を行っている。	C : 継続実施	男女平等の視点に立った雇用環境の整備が図られるよう事業者に対し、普及啓発を行っている。	A : 計画どおり実施

子育てへの男性の参画促進	はこね男女共同参画推進プランにより、男女共同参画の意識づくりを図ります。	企画課	「はこね男女共同参画推進プラン」における施策内容の実施状況等について各課へ照会し、取りまとめ、進行管理を行った。また、男女共同参画の意識啓発のための記事を広報誌へ掲載した。	C：継続実施	「はこね男女共同参画推進プラン」における施策内容の実施状況等について各課へ照会し、取りまとめ、未達の項目を個別具体的に洗い出した。また、例年通りの男女共同参画の意識啓発のための記事に加え、内閣府が募集しているキャッチコピーの記事も広報誌へ掲載した。	A：計画どおり実施
--------------	--------------------------------------	-----	--	--------	--	-----------

6 子どもたちの安全の確保

(1) 交通安全活動の推進

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
交通安全教育	保育園、幼稚園、小・中学校における子どもたちへの交通安全教育を推進する。	子育て支援課	保育園では、交通安全教室を開催し交通安全教育を推進した。	C：継続実施	保育園では、交通安全教室を開催し交通安全教育を推進した。	A：計画どおり実施
		学校教育課	幼稚園では、交通安全教室を開催し交通安全教育を推進した。	C：継続実施	幼稚園では、交通安全教室を開催し交通安全教育を推進した。	A：計画どおり実施
		総務課	県くらし安全指導員や幼児交通安全指導員により各小学校をはじめ、保育園・幼稚園にて交通安全教室を行った。	C：継続実施	小田原警察署員や神奈川県幼児交通安全指導員により各小学校をはじめ、保育園・幼稚園にて交通安全教室を行った。	A：計画どおり実施
	さまざまな機会を活用しながら、年代等に応じた交通安全教育を推進する。	総務課	育児サークル時に未就園児及び保護者向けに交通安全教室を行った。また、小学校では低学年・高学年に分け、年代別に交通安全教室を行った。	C：継続実施	育児サークル時に未就園児及び保護者向けに交通安全教室を行った。また、小学校では低学年・高学年に分け、年代別に交通安全教室を行った。	A：計画どおり実施
	交通安全にかかる指導者の確保に努める。	総務課	警察官OBを交通防犯担当として臨時雇用し、小学校での交通安全教室時等において指導を行った。（平成19年度から）	C：継続実施	警察官OBを交通防犯担当として臨時雇用し、小学校での交通安全教室時等において指導を行った。（平成19年度から）	A：計画どおり実施
警察や関係機関等による交通安全運動を促進する。	総務課	各季における交通安全運動時等において警察・関係団体と連携し、広報啓発活動を行った。	C：継続実施	神奈川県交通安全運動計画に基づき、町交通安全運動計画を作成し、警察・交通関係団体と連携し、広報啓発活動を行った。	A：計画どおり実施	
チャイルドシート着用の啓発	保健事業などさまざまな機会を活用して、チャイルドシートの着用の啓発と助成制度の周知を図る。	子育て支援課	法的に義務付けられているため未実施。	F：未実施	法的に義務付けられているため実施しない。	E：中止

(2) 防犯活動の推進

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
防犯体制・活動の促進	警察を中心とした地域の防犯体制の強化を促進する。	総務課	小田原地方防犯協会に委託し箱根町の防犯体制の強化を図った。	C：継続実施	小田原地方防犯協会に委託し箱根町の防犯体制の強化を図った。	A：計画どおり実施
	警察、関係機関との連携を強化するとともに、住民や学校等の参画を得ながら、地域における防犯活動の充実を図る。	総務課	警察・自治会等関係団体が協力しながら防犯キャンペーン・防犯パトロール等を行った。	C：継続実施	警察・自治会等関係団体が協力しながら防犯キャンペーン・防犯パトロールや高齢者をターゲットとした犯罪が多いため高齢者戸別訪問を行った。	A：計画どおり実施
		学校教育課	不審者情報があった際には、警察（派出所）と連携をとるとともに、各学校・施設にも連絡をし、防犯活動及び防犯意識の向上に努めた。	C：継続実施	不審者情報があった際には、警察（派出所）と連携をとるとともに、各学校・施設にも連絡をし、防犯活動及び防犯意識の向上に努めた。	A：計画どおり実施
	庁内関係課、関係機関等の連携により、親子への防犯教室の開催を検討する。	総務課	県くらし安全指導員による防犯教室等の開催についての周知を行った。	C：継続実施	県くらし安全指導員による防犯教室等の開催についての周知を行った。	A：計画どおり実施
		学校教育課	一部の学校において児童向けにくらし安全指導員による防犯教室を実施し、その他、防犯教室を行った。	C：継続実施	一部の学校において児童向けにくらし安全指導員による防犯教室を実施し、その他、防犯教室を行った。	A：計画どおり実施

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
防犯体制・活動の促進	庁内関係課、関係機関等の連携により、親子への防犯教室の開催を検討する。	総務課	親子への防犯教室は未実施であるが、様々な機会をとらえ防犯を含めた講話を行っている。	C：継続実施	親子への防犯教室は未実施であるが、様々な機会をとらえ防犯を含めた講話を行っている。	A：計画どおり実施
防犯に関する情報提供等	神奈川県警察による情報システム等を活用するとともに、関係機関の連携を強化し、防犯に関する情報提供に努める。	総務課	県・警察等から提供を受けた防犯情報等を自治会等に提供するとともに、必要に応じ町民への広報等(広報誌・防災無線・メールマガジン・TVKデータ放送)により情報提供を行った。	C：継続実施	県・警察等から提供を受けた防犯情報等を自治会等に提供するとともに、必要に応じ町民への広報等(広報誌・防災無線・メールマガジン・TVKデータ放送)により情報提供を行った。	A：計画全て実施
	不審者の出現などの情報について、保育園、幼稚園、小・中学校等において共有するとともに、子ども、保護者への周知を図る。	子育て支援課	教育委員会から不審者の出現などの情報連絡が保育園に入るので、園ではこの通報により、園児や保護者に対し周知及び注意喚起を図った。	C：継続実施	教育委員会から不審者の出現などの情報連絡が保育園に入るので、園ではこの通報により、園児や保護者に対し周知及び注意喚起を図った。	A：計画全て実施
		学校教育課	不審者情報について速やかに各学校、園に連絡し、周知徹底を図った。	C：継続実施	不審者情報について速やかに各学校、園に連絡し、周知徹底を図った。	A：計画全て実施

7 要保護児童への対応などきめ細かな取組みの推進

(1) 児童虐待防止対策の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
子どもの命、人権に対する意識の向上	保育園、幼稚園、小・中学校において、保護者への人権意識の啓発をはかる。	子育て支援課 学校教育課	幼稚園では、「園だより」や保護者会等で人権意識の啓発を図った。	C：継続実施	幼稚園では、「園だより」や保護者会等で人権意識の啓発を図った。また、幼稚園・保育園の「園だより」に併せ児童虐待防止を周知するチラシを配付した。幼稚園では、「園だより」や保護者会等で人権意識の啓発を図った。	A：計画どおり実施
	子育てや家庭教育にかかる学習機会において、保護者への人権意識の啓発を図る。	子育て支援課	出産育児教室や親子が集まる子育て支援センターにおいて、子どもの命の大切さについての講義などを実施し、人権意識の向上を図った。	C：継続実施	出産育児教室や親子が集まる子育て支援センターにおいて、子どもの命の大切さについての講義などを実施し、人権意識の向上を図った。	A：計画どおり実施
		生涯学習課	各小中学校PTAに対し、下郡各町との連絡をとりながら、冊子等による広報を行い、啓発を図った。	C：継続実施	各小中学校PTAに対し、下郡各町との連絡をとりながら、各種研修機会の情報提供を行った。	A：計画どおり実施
	さまざまな講座、教室、講演会等を活用し、住民全体の人権意識の高揚を図る。	健康福祉課	・特設人権相談を2回開設した。 ・町内小・中学校の児童、生徒に対し啓発物品等を配布し人権意識の高揚を図った。	C：継続実施	・特設人権相談を2回開設した。 ・町内小・中学校の児童、生徒及び住民に対し啓発物品等を配布するとともに仙石原文化センター祭の際、参加者を対象にアンケート調査を行い、人権意識の高揚を図った。	A：計画どおり実施
要保護児童対策地域協議会	代表者会議・実務者会議・ケース検討会議の開催により、広域的な連携を図りながら児童虐待の防止を図る。	子育て支援課	代表者会議と実務者会議を年1回、ケース検討会議を必要に応じて開催し、連携を図った。	C：継続実施	代表者会議を年1回、実務者会議を年2回、ケース検討会議を必要に応じて開催し、連携を図った。	A：計画どおり実施

(2) ひとり親家庭の支援

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
ひとり親家庭 に対する支援 事業	民生委員・児童委員の活動により、 ひとり親家庭の実態把握を図る。	健康福祉課	民生・児童委員の日常的な活動の中で、ひ とり親家庭の実態を把握し、必要な相談・援 助活動を行った。	C：継続実施	民生・児童委員の日常的な活動の中で、ひ とり親家庭の実態を把握し、必要な相談・援 助活動を行った。	A：計画どおり実施
	ひとり親家庭への生活支援サービス の充実を図る。	子育て支援課	ひとり親家庭等医療費助成制度の実施によ る経済的支援を行なった。	C：継続実施	ひとり親家庭等医療費助成制度の実施によ る経済的支援を行なった。 H24.2末時点対象者 111世帯287人	A：計画どおり実施
ひとり親家庭 に対する相 談、情報提供	ひとり親家庭が抱えるさまざまな悩 みについての相談体制を充実する。	子育て支援課	ひとり親家庭が抱えるさまざまな悩みにつ いて、窓口、電話で対応を行なった。	C：継続実施	ひとり親家庭が抱えるさまざまな悩みにつ いて、窓口、電話で対応を行なった。	A：計画どおり実施
	ひとり親家庭への支援サービス、制 度についての情報提供を図る。	子育て支援課	県などが発行した、ひとり親家庭向けの各 種パンフレットを配布するなどの情報提供を 行なった。	C：継続実施	県などが発行した、ひとり親家庭向けの各 種パンフレットを配布するなどの情報提供を 行なった。	A：計画どおり実施

(3) 障がい児への支援の充実

事業名等	内 容	担当課	H 2 3 年度実施状況	23年度実施評価 (A～F)	H 2 4 年度実施状況	24年度実施評価 (A～F)
障がいの予 防、早期発 見・対応	医療機関など関係機関との連携のも と、新生児訪問や乳幼児健診などを通 じて、障がいの予防及び早期発見・対 応を図る。	子育て支援課	障がいの早期発見に努めるとともに、発見 後必要に応じて専門機関と連携し、早期療育 が実施できるように努めた。	C：継続実施	障がいの早期発見に努めるとともに、発見 後必要に応じて専門機関と連携し、早期療育 が実施できるように努めた。	A：計画どおり実施
	「地域訓練会（なでしこ教室）」の 活動など、障がい児の療育を充実す る。	健康福祉課	地域訓練会を年12回開催した。 末就学児等は延べ55人であった。	C：継続実施	地域訓練会を年12回開催した。 末就学児等は延べ55人（見込）	A：計画どおり実施
障がい児保 育・教育の充 実	保育園、幼稚園において、障がいの ある子とない子の交流を進めるととも に、障がいのある子が必要とする支援 を図る。	子育て支援課 学校教育課	保育園・幼稚園には、障がいのある子も入 園しているため、日々交流が行われている。 また、障がいのある子や障がいがない子も同 じ就学前の子どもであるため同じように保育 しているが必要とする支援は日々保育の中で 行った。	C：継続実施	保育園・幼稚園には、障がいのある子も入 園しているため、日々交流が行われている。 また、障がいのある子や障がいがない子も同 じ就学前の子どもであるため同じように保育 しているが必要とする支援は日々保育の中で 行った。	A：計画どおり実施
発達障がい等 多様な障がい への対応	保健事業や保育園、幼稚園を通じ発 達障がいの早期発見・対応に努めると ともに、専門家を配置し、子どもの状 況に応じた必要な支援を図る。	子育て支援課 学校教育課	保育園・幼稚園に臨床発達心理士を派遣 し、発達障がいの早期発見・対応に努めると ともに、発達障がい児を担当する保育士・教 諭にアドバイス等を行い、子どもの状況に応 じた必要な支援を図った。	C：継続実施	保育園・幼稚園に臨床発達心理士を派遣 し、発達障がいの早期発見・対応に努めると ともに、発達障がい児を担当する保育士・教 諭にアドバイス等を行い、子どもの状況に応 じた必要な支援を図った。	A：計画どおり実施